

# なますて



平成23年8月1日発行

## 住職あいさつ

この度の東日本大震災により実に沢山の尊い命が失われたことに対しまして、哀悼の意を表しますとともに、いまだに避難生活を強いられている方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

幸いにも災難を逃れた人たちは、日々命を大切に亡くなられた方々の分まで、精一杯生きていただきたいと切に願うばかりです。そのためにも、我々一人ひとりが出来ることを奉仕し続けていくことが大切なのだと思います。

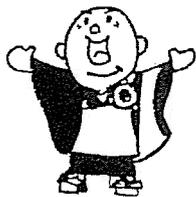
震災直後、陸前高田一面に広がる瓦礫の山の中に立った時、自然の大きさと恐怖、人間の小ささと無力さ、いのちのはかなさと尊さ…人間を越えた大きな大きな存在を改めて感じさせられました。長い時間はかかるのですが、きっといつの日かまた復興することを祈るばかりです。

今年もお盆がやってきます。毎年の行事ではありますが、今年は震災後の初盆ということで特別な思いで迎えられる方も多いのではないのでしょうか。未だに行方不明で遺体が見つからない方が数千人もいらっしゃいます。一家全員・一族ごとごとく犠牲になったという方も、少なくありません。なんとも辛い話です。

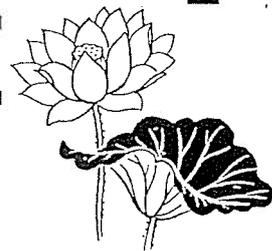
お盆は本来、縁のある方々(有縁)の供養ばかりではなく、縁のない方々(無縁)の浮かばれない霊をこそ、ご供養してあげましょう!というものです。無縁の霊を大切にすることは有縁の霊をも大切にします。有縁の霊を大切にすることは身の回りの方々をも大切にすることでしょう。

あるお経の一節には「仏心とは大慈悲心是なり」と説かれています。我々は有縁も無縁も隔てなく、周りの人達、特に弱い立場にある人、困っている人たちに対する思いやりの心(慈悲心)を大切に、助け合い支え合って生きていきたいものです。

合掌



## —秋季開山忌のご案内—



光林寺の秋季開山忌を下記日程にて執り行います。  
ご家族、ご親戚お誘い合わせの上、お参り下さい。

- ◎日時 平成23年11月23日(水・祝日)
- 午前10時00分 御詠歌
- 午前11時00分 開山忌法要(法要終了後、ご法話)

※ 秋季開山忌の塔前(当番地区)は  
南寺林・桜淵・江曾 の各地区 です。

ご協力の程、よろしくお願ひ致します。

# 東日本大震災犠牲者追悼並復興祈念法要

平成23年3月11日に発生した『東日本大震災』の影響が、まだ色濃く残る4月23日。

今年の春季開山忌は『東日本大震災の犠牲者追悼並びに復興祈念法要』として厳修することとなりました。食事の振る舞いを中止し、皆様から納めていただく『御仏前』を全額被災地へ寄付する形での開催でした。まだ余震も多く、ようやく新幹線(盛岡～一関)の運転が再開された頃でした。そのような時期に果たしてどれだけの方が参詣していただけるのか正直、不安でした。

しかし、その不安は杞憂でした。当日は普段の開山忌と同等以上の200名近い檀家さんが参詣に訪れて下さいました。

また、43名の御詠歌講員の皆さんが心のこもった御詠歌を犠牲者のために奉じて下さいました。

そして、皆様からの御仏前は 総額 ¥ 503,000 -  
(御詠歌講中分含む)でした。このお金は、義援金として岩手日報社を通じて被災地に寄付させていただきました。  
ご協力、誠にありがとうございました。



御詠歌の奉詠風景

## てらこや合宿

今年もてらこや合宿を7月30～31日に行いました。記念すべき第30回を迎えた今年には40名の子供たちが集い『川柳』と『長～いのり巻き』作りに挑戦しました。

川柳作りでは大人顔負けの作品から子供らしく微笑ましい作品まで様々な句が出来ました。子供たちの可能性と日本語の奥深さを再確認させてもらいました。

のり巻き作りでは、みんなが息を合わせて約10分もの長いのり巻きが無事出来上がりました。みんなでおしくいただきました(^\_^)

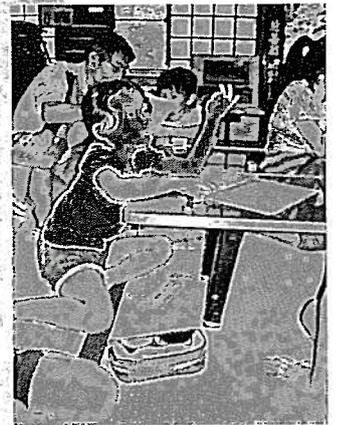
さらに30回記念のスペシャルゲストとして、エッセイストの澤口たまみさんをお迎えしお話を伺いました。虫のお話では、子供たちも興味津々(^o^)

他にも、竹箸作りに竹馬、長縄飛びなどの伝承遊びや肝試し、座禅など盛りだくさんの2日間となりました。

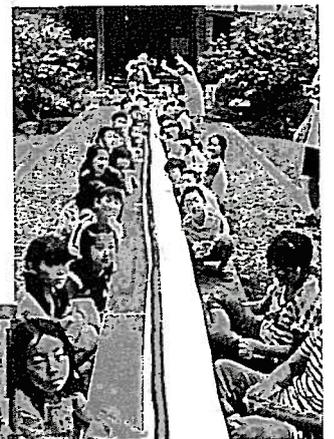
「近頃の子供たちは…」とよく耳にしますが、遊びに興じ、臆せず他校の友達をつくり、よく笑う彼らを見ていると昔の子供と何一つ変わらないのだ、と気付かされます。

もしかしたら、我々大人が昔を忘れただけかもしれませんね…(^\_^)

てらこや合宿の写真を本堂入口脇に掲示しております。どうぞご覧ください。



↑ ご…しち……?



↑ 約10分の「のり巻き」完成!



↑ みんな笑顔で記念写真



↑ 澤口たまみさんの「虫のお話」



# 光林寺チャリティ寄席

今回で第46回となる『光林寺寄席』が、6月26日(日)に開催されました。

今回は、東日本大震災をうけ『光林寺チャリティ寄席』としました。お呼びした入船亭船橋師匠にもご賛同いただき開催の運びとなりました。

入船亭船橋師匠といえば落語協会の理事を務められ、“超”のつくベテランにして名人の呼び声も高く、県内にもファンが多いいらっしゃいます。そのお陰もあってか近年では一番の大入りとなる約200人の皆様にご来場いただきました。入船亭扇里師匠には『鼓が滝』『南瓜屋』、船橋師匠には『心眼』を演じていただきました。特に、船橋師匠の落語は、そのお話の情景が目に浮かんでくるような素晴らしい高座でした。

当日は、花巻温泉に避難されている被災者の方々をお招きさせていただきました。大変であろう避難生活の中に少しでも笑いを届けることができたのではないかと思います。また、檀家さんも数多くいらっしゃって下さいました。

誠にありがとうございました。

なお、今回の収益の中から ¥138,243- を義援金として寄付させていただきました。重ねて御礼申し上げます。

次回の第47回光林寺寄席はチャリティ第2弾として 10月29日(土) に 伊奈かつぺい さんをお招きして開催する予定です。ご期待下さい。



入船亭船橋師匠

# 豊沢光林寺公園清掃奉仕

去る、6月30日(木)、毎年恒例の『豊沢光林寺公園清掃奉仕』が南寺林、桜淵、江曾の各地区の檀家さん23名の協力を得て行われました。

毎年6月にその年の春・秋の開山忌当番の地区が担当して行われます。今年は震災や大雨の影響が心配されましたが大きな被害もなく清掃奉仕は決行されました。

当日は、にわか雨の降るあいにくの天候でしたが、朝10時頃から草刈りと掃除を行い、一時間程で見違えるようにきれいになりました。続いて、『阿弥陀くら』に移動し同じように草刈り、清掃をしていただきました。

その後、鉛温泉 藤三旅館にて昼食とり、入浴、休憩をし解散となりました。

豊沢・光林寺公園は当山の御本尊『阿弥陀如来像』が発見された由緒ある土地です。光林寺のルーツの一つともいえる場所です。

こういう場所を檀家の皆様とともに訪れ、清掃するということは大変意味のある、大事な事だと思っております。

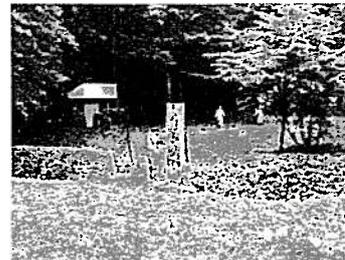
今後も、ご協力ご参加下さいますようお願い申し上げます。



↑ 人の腰丈まで雑草が伸びていました。



↑ 皆さんで協力して掃除していただきました。



↑ 約1時間の作業で完了です。お疲れ様でした。

# Q and A

## Q. 『無財の七施』って何ですか？

A. なますて第3号のQ&Aに出てきた『無財の七施』についてのご質問です。

これは『雑宝蔵経』(ぞうほうぞうきょう)に「七種施の因縁」として説かれているものです。

最近では誰にでもできる布施としてしばしば紹介されています。しかし、実行しようとするとなかなか大変なもので、単なる善行ではなく、やはり布施という修行なのだなあとおぼやされます。

### 1. 眼施(げんせ)

慈眼施(じげんせ)ともいいます。眼による施し。優しいまなざしで接することです。

『雑宝蔵経』(以下、経典)には、「常によいまなざしを見て、険しい目で見ない」とあります。

### 2. 和顔悦色施(わがんえつじきせ)

和顔施(わがんせ)ともいいます。穏やかな温かい表情で接することです。

経典には「悪い感情をあらわにして険しい表情をしない」とあります。

### 3. 言辞施(ごんじせ)

愛語施(あいごせ)ともいいます。愛のある言葉、思いやりのある言葉を与えることです。

経典には「柔らかな言葉を出し、粗暴な言葉を使わない」とあります。

### 4. 身施(しんせ)

捨身施(しゃしんせ)ともいいます。損得を抜きにして、自分の身体を使って奉仕することです。

経典には「起(た)ち迎えて礼拝す」とありますから、相手に不快感を与えない礼儀作法や身だしなみ、敬意をもって接することも身施として大切なことです。

### 5. 心施(しんせ)

心慮施(しんりよせ)ともいいます。思いやりの心を持つこと、真心を込めて行うことです。

経典には「上記のような内容で(眼施から身施まで)供養したとしても、心に思いやりがなければ供養にならない。心に思いやりがあれば、深く供養を生ずるであろう」とあります。

### 6. 床座施(しょうざせ)

座席を譲ること。経典には「席を作って座らせる、あるいは自分がすでに座っている席を譲って、座っていただく」とあります。

### 7. 房舎施(ぼうしゃせ)

自宅に人を迎え、雨露をしのぐ場を提供することです。

経典には「家の中に迎えて過ごしてもらおう」とあります。

以上が『雑宝蔵経』の説く「無財の七施」です。

こうやって見ていくと、ハッとさせられませんか？ 普段の生活のなかで思い当たる節がたくさんあります。当たり前なことを当たり前になす……。時代は違えど、求められるものは同じなのですね。

「是<sup>これ</sup>を七施と名<sup>なづ</sup>く。財物を損<sup>い</sup>せずと雖、大果報を得るなり」『雑宝蔵経』

## — ルンビニーからのお知らせ —

- ◎ ルンビニー美術館では『かたち、心へとつづく旅』と題し、7月14日～10月4日まで企画展を開催しています。この企画展は「人間による造形表現」と「自然物の造形」を同時に展示するという画期的な展示です。ぜひ、ご来場下さい。また、菓子工房『夢舎夢舎』のお菓子やケーキ、美術館内喫茶『るん♪カフェHeart-Pit』の軽食やコーヒーも是非、ご賞味下さい。

美術館開館時間 10:00～17:00 (水曜定休)

- ◎ きららアート・スペシャルコレクション『いわての底力、世界に』(入場無料)が岩手県民会館展示室にて開催されます。昨年、フランス・パリで開かれた「アール・ブリュット・ジャポネ」出展作品を中心に展示します。また、9月3日(土・13:30～)には、岩手県公会堂大ホールにてステージイベント～『きららアートサミット』(入場無料)が開催されます。出展作家たちのジャポネ展裏話やアート対談、あんべ光俊さんのコンサート等、内容盛りだくさんです。是非、ご来場下さい。

開催日時 8月30日(火)～9月4日(日) 10:00～17:00 (最終日～15:30)

- ◎ 10月23日(日)に『ルンビニー祭』が開催されます。ご来苑、お待ちしております。